

平成27年度採択 文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業

平成28年度 青森 COC+推進機構(青森ブロック)

事業実績報告書

青森 COC+推進機構(青森ブロック)

目 次

1 ごあいさつ 1

青森中央学院大学	学長	花田 勝美
青森県立保健大学	学長	上泉 和子
青森中央短期大学	学長	久保 薫

2 青森ブロック事業 5

- (1) ブロック会議
- (2) 就活支援ネットワーク事業
- (3) 学生の起業支援事業

3 教育プログラム開発 13

- (1) 共育型インターンシッププログラム (主査校：青森中央学院大学)
- (2) 女子学生のキャリア支援プログラム (主査校：青森県立保健大学)

4 雇用創出連携プロジェクト 29

- (1) ツーリズム関連産業創出プロジェクト
(プロジェクトマネージャー校：青森中央学院大学)

5 参考資料 35

- (1) 青森中央学院大学COC+推進学内組織
- (2) 青森県立保健大学COC+推進学内組織
- (3) その他

青森COC+推進機構（青森ブロック）

ごあいさつ

県内若者の定着のため、弘前大学が申請していた「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」が平成27年度に文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されました。

青森中央学院大学は青森COC+青森ブロックリーダー校として、参加大学である青森県立保健大学と青森中央短期大学とともに、ブロック事業、教育プログラム開発、雇用創出連携プロジェクトに取り組んでいます。

この度、これらの取り組みの平成28年度実績を取りまとめました。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



青森 COC+推進機構副機構長
青森中央学院大学
学長 花田 勝美

青森COC＋推進機構（青森ブロック）

ごあいさつ

青森県立保健大学におきましては、平成27年度から「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」の一環として「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」を行っております。

人口減少問題が大きな課題となっている青森県におきましては、特に若い女性の進路選択が大きな意味を持ちますし、また現在政府が進めております「一億総活躍社会」の形成におきましても、女性の果たすべき役割の重要性につきましては言を俟たないところであります。

本学におきましても、このプログラム開発を通じて、少しでも“青森県の地方創生”のお役に立つべく、引き続き努力して参る所存でありますので、今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



青森COC＋推進機構監事
青森県立保健大学
学長 上泉 和子

青森COC+推進機構（青森ブロック）

ごあいさつ

平成27年度に文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」の一環として、青森県立保健大学を主査校として、「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」を行っておりますが、本学は弘前ブロックの東北女子大学・弘前学院大学・弘前医療福祉大学の3大学とともにワーキンググループに参加して「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」に取り組んでおります。

人口減少問題を克服するためには、特に若い女性の進路選択が重要であることから、引き続き努力して参る所存ですので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



青森COC+推進機構参加校
青森中央短期大学
学長 久保 薫

2 青森ブロック事業

2 青森ブロック事業

青森県を青森市・弘前市・八戸市・むつ市を中心とした4つのブロックに分け、それぞれブロックを核とした事業を展開しているが、青森ブロックでは青森中央学院大学・青森県立保健大学・青森中央短期大学の3大学のほか、青森県・青森市の2自治体、青森商工会議所、NPO法人プラットフォームあおもりで構成するブロック会議を開催し、ブロック内の事業協働機関の情報共有を図るとともに、事業内容のチェックや改善策の検討を行った。

また、ブロックの特性などを踏まえて、就活支援ネットワーク事業と学生の起業支援事業を実施した。

(1) ブロック会議

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成28年7月4日（月）16:00～17:30 |
| 場 所 | ホテル青森 4階「樫の間」 |
| 議 事 | 1 平成27年度COC+活動実績報告について
2 平成28年度事業計画について
3 その他（意見交換） |



- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成28年12月2日（金）13:30～15:00 |
| 場 所 | ホテル青森 4階「桜の間」 |
| 議 事 | 1 今年度の取り組み状況及び今後の予定について
2 COC+における青森県内就職率実績と事業目標値について
3 青森県の大学生が作る、青森県大好きマガジン「SCENE」について
4 起業セミナーについて
5 その他（意見交換） |



- 日 時 平成29年3月16日（木）13：30～15：00
- 場 所 ホテル青森 4階「樁の間」
- 議 事
- 1 平成29年度事業計画（COC+青森ブロック）について
 - 2 女子学生のキャリア支援プログラム開発の取組状況について
（青森県立保健大学）
 - 3 平成29年度県民局重点事業について（東青県民局地域連携部）
 - 4 平成29年度青森市主な取組について（青森市政策推進課）
 - 5 その他（意見交換）



(2) 就活支援ネットワーク事業

①合同企業等見学会 in むつ

むつ下北地域の企業等を学生が訪問し、各企業等を実地で知ることにより、今後学生がインターンシップや就職の場として、選択肢の一つとして考える貴重な機会となった。

実施期間 平成28年10月6日(木)～7日(金)

参加学生 青森中央学院大学経営法学部8人、弘前大学理工学部3人

訪問企業等 アツギ東北(株)、国立研究開発法人海洋研究開発機構むつ研究所、青森監査法人むつ事務所、(株)マエダ、(株)むつ家電特機、(株)大湊精電社



アツギ東北(株)



国立研究開発法人海洋研究開発機構むつ研究所



青森監査法人むつ事務所



(株)マエダ



(株)むつ家電特機



(株)大湊精電社

② SCENE取材

学生が学生に向けて青森県内の魅力的な企業や人・地域を紹介する広報誌「SCENE」を発行しているが（編集は弘前大学）、青森中央学院大学は「SCENE」第3号から取材に本格参加した。

取材先：(株)JR東日本青森商業開発 (A-FACTORY)

代表取締役社長 大内 卓

取材学生：青森中央学院大学 俵山歩、進藤秀伸、工藤幸太郎

青森中央短期大学 野澤芽生



大内社長と本学出身社員の笹さん(左から3番目)を囲んで



A-FACTORY内のシードル工房

③企業就職セミナー

平成29年3月1日に、青森中央学院大学において企業就職セミナーを開催した。本セミナーには60社を超える企業が参加し約250名の学生が参加したが、むつ下北地域の企業も8社（ほかにオブザーバー参加1社）参加し、企業紹介を行った。



セミナーの様子



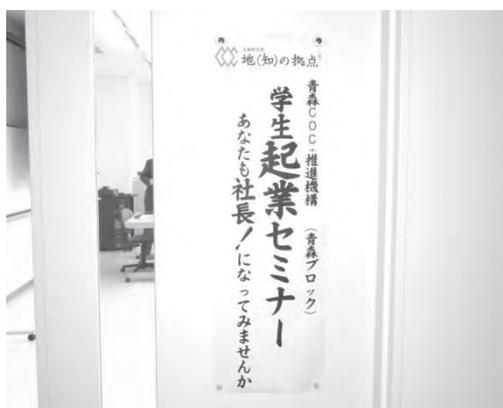
セミナーの様子（むつ下北地域の企業）

(3) 学生の起業支援事業

① 起業セミナー及び個別相談会の開催

平成28年10月から平成29年2月にかけて、起業セミナー及び同個別相談会を計8回開催し、延べ25名の学生が参加した。

21あおもり総合産業支援センターのインキュベーションマネージャーを講師に迎え、学生の起業に対する意識の醸成を目的に、地方経済の特色、NPO法人の現状及び基本的な会社経営の手法などを学ぶことにより、参加学生の起業についての問題意識の向上に寄与した。



②A-SWEETSテスト販売

青森中央学院大学経営法学部2年キャリアプランニングⅣでは、平成27年度に青森市の洋菓子店と協同で青森産の野菜をベースにしたオリジナルスイーツを商品企画する「A-SWEETS」プロジェクトを実施したが、このオリジナルスイーツを本格販売するために、上記①の起業セミナー及び個別相談会に参加し、価格設定、販売方法等を検討した。

また、平成29年3月2日～3日に東京都港区赤坂の青森市ビジネス交流拠点・AoMoLinkで経営法学部学生5人が試食&アンケートを実施したが、実施前にビジネス講座を開催し、名刺交換・あいさつなどのビジネスマナー基本講習を受けた。



青森市ビジネス交流拠点・AoMoLinkでの試食&アンケートの様子

③県内経営者インタビュー

平成29年3月15日に、青森市内2社の経営者インタビューを行い、延べ6名の学生が参加した。学生目線で取材・発信を行っていくことにより、学生への起業支援の一助となった。

<経営者> あおもり藍産業協同組合 代表理事 吉田 久幸氏
株式会社 大坂組 代表取締役社長 大坂 憲一氏



あおもり藍産業協同組合



株式会社 大坂組

3 教育プログラム開発

3 教育プログラム開発

(1) 共育型インターンシッププログラム（主査校：青森中央学院大学）

共育型インターンシップについては、青森中央学院大学を主査校にワーキンググループ（以下、「WG」）を構成して、WGで共育型インターンシッププログラムについての検討を行っている。平成28年度においては、6月と12月の2回開催した。

所属・職名	氏名
青森県企画政策部企画調整課基本計画推進G主幹	楠美 太助
青森市市民政策部政策推進課長	船橋 正明
青森中央学院大学キャリア支援センター長・教授	塩谷 未知
青森中央学院大学地域連携センター長・教授	高山 貢
八戸工業大学学務部次長・准教授	小玉 成人
NPO 法人プラットフォームあおもり理事長	米田 大吉
青森商工会議所中小企業相談所長	斉藤 尚
株式会社青森銀行 地域振興部 地域振興課長	鈴木 淳司
株式会社みちのく銀行 人事部副部長兼人財開発室長	山内 雅史
株式会社大坂組 代表取締役社長	大坂 憲一
(オブザーバー)	
株式会社若山経営 執行役員経営支援室部長	千葉 裕仁
青森中央学院大学経営法学部 講師	奥村 俊樹

① WG会議の開催状況

平成28年度第1回WG会議（通算第3回目）

- 日時 平成28年6月3日（金）16:00～17:30
- 場所 ホテル青森 4階「桃の間」
- 議事
- 1 今年度ワーキンググループが取り組む内容及び各メンバーの役割について
 - 2 「共育型インターンシップ～学生と共に育つ企業のためのガイドブック～」の発行について
 - 3 その他（意見交換）



平成28年度第2回WG会議（通算第4回目）

- 日時 平成28年12月21日（水）13:00～14:30
- 場所 青森国際ホテル 5階「銀扇の間」
- 議事
- 1 平成28年度の取り組み状況及び実績について
 - 2 平成29年度取り組みの基本的方向性について
 - 3 その他（意見交換）



② 企業向け共育型インターンシップフォーラムの開催

- 日 時 平成28年11月4日（金）13:30～17:00
- 場 所 ホテル青森 4階「錦鶏の間」
- 参加者 43名
- 議 事
- 1 COC+事業概要説明～これまでの成果と今後の展開について
 - 2 事例紹介
 - 株式会社青森テレビ ～共育型インターンシップ導入の狙い
 - 株式会社若山経営 ～COC+事業における当社の取り組み
 - 3 ワークショップ
共育型インターンシップの流れ及び全体のプログラム設計について ～学生と共に育つ企業のためのガイドブック」の活用



③ 共育型インターンシップの実施

○NHK青森放送局

- 参加学生 青森中央学院大学経営法学部 4名
- 期 間 平成28年8月4日（木）～9月2日（金）
（事前学習：平成28年5月28日（金）、6月3日（金））
- 概 要 青森発ドラマの学生目線でのセールスプロモーションの企画実行





○株式会社青森テレビ

参加学生 青森中央学院大学経営法学部 4名

期 間 平成29年2月15日(水)～3月30日(木)

概 要 地域に「つながる」仕組み・番組コンテンツ提案



○株式会社若山経営

参加学生 青森中央学院大学経営法学部 2名

期 間 平成29年3月6日(月)～3月31日(金)

概 要 青森市内の企業の実態調査と魅力アップ提案



○地域密着アクト

履修学生 青森中央学院大学経営法学部 3年生対象

概 要 消費者教育の総合的・一体的な推進

- 外部活動
- ・第52回青森県消費者協会（平成28年11月9日）
 - ・青森中央学院大学 金融リテラシー講演会（平成29年1月17日）
 - ・大学生による消費者教育講座（平成29年2月12日）



第52回青森県消費者協会



青森中央学院大学 金融リテラシー講演会



大学生による消費者教育講座

○地域探究アクト

履修学生 青森中央学院大学経営法学部 2年生対象（前学期・後学期）

- 概 要
- ・前学期～著名経済人（日経新聞「私の履歴書」）の年表作成、
自分史作成（祖父母の時代から）
 - ・後学期～協力企業の経営者インタビューをもとに社史作成
 - ・先進地現地調査～長野県駒ケ根市の企業ドメイン研究会



製糸業のミュージアムを訪問



養命酒社を訪問



第20回企業ドメイン研究会

○共育型インターンシップ事前擦りあわせ

共育型インターンシップの実施前に、受け入れ企業・大学が集まり、事前（直前）の擦りあわせを行った。

日 時 平成29年1月19日（木） 13:30～16:30
場 所 青森中央学院大学 図書館学修室
参加者 受入企業～株式会社青森テレビ、株式会社若山経営
大 学～青森中央学院大学キャリア支援センター・地域連携センター
講 師 NPO法人 Wiz（岩手県大船渡市・盛岡市）
コーディネーター・キャリアカウンセラー 八田浩希氏



○事前学習（ビジネスマナー研修）

株式会社若山経営及び株式会社青森テレビの参加学生に対し、産業カウンセラーを講師に、仕事との関り、ビジネスマナー、仕事に対する姿勢など、実践的な実技を伴う講習を行った。

日 時 平成29年2月27日（月） 13:30～16:30
場 所 青森中央学院大学2号館 3F 231教室
参加者 学生8人（インターンシップ参加学生6人、A-SWEETS テスト
販売参加学生2人）
講 師 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会東北支部
養成講座部副部長 青森県運営部部長 齋藤啓一氏



(2) 女子学生のキャリア支援プログラム（主査校：青森県立保健大学）

青森県立保健大学においては、「女子学生のキャリア支援プログラム」を策定する主査校として、「女子学生が自身のキャリアや生き方について適切、かつ具体的なイメージを持った上で、青森県内への就職を決定し、望む生き方・働き方をしながら県内に定着する」ことを目指した教育プログラム策定に向けて各種事業を展開していくこととしているが、本年度は下記のように事業を展開したところである。

① 教育プログラムWG会議等の実施

下記のとおり開催し、事業計画や調査結果の分析などについて、協議・意見交換を行った。

（参考資料「推進学内組織」参照）

○開発・実施委員会（学内小委員会）を、4月18日（月）、8月10日（水）、10月20日（木）の3回開催した。

○開発・実施委員会（学内委員会）を、6月13日（月）、1月10日（火）、3月17日（金）の3回開催した。

○教育プログラムWG会議を、8月4日（木）、10月25日（火）、2月7日（火）の3回開催した。



② 女子学生のキャリア・生活指向と地元定着の関連を知るための実態調査

平成27年度に実施したインタビュー調査の結果（資料1・2）、学生が「文化・地域への価値」「人とのつながり」「仕事・職場への価値」「将来設計」の間でバランスを取り、自分が重要と感じている事柄を吟味し、卒業後の生き方を決めていると分析。これをアンケート調査の項目や以下のプログラム標準モデル（原案）のテーマとして反映させた。また、視察調査では、COC+事業の先進・特徴的な事例を調査することによってプログラム開発の参考となるデータ等を得ることができた。

○平成27年度卒業生、在学生（WG関係校）へのインタビューの取りまとめと分析

○卒業生、在学生（WG関係校）へのインタビュー調査（20名）

○アンケート調査：平成29年1月～3月初旬にWG参加校で実施・集計

⇒（約490部回収）

③ 「くらす？はたらく」シリーズ session1～女社会？男社会～の実施（資料3）

学生に自分の「生活」と「キャリア」について、深く考察・理解してもらった上で地元定着を選択してもらうことをテーマとした教育プログラムとして「くらす？はたらく」シリーズを企画。第1弾として「～男社会？女社会～」を実施した。ワールドカフェスタイルを選択し、参加学生が 県内で働くゲスト3名とコーディネーターの多様な経験談を聞くことができるよう配慮した。参加した学生からは、「社会に出て自分が大切にしたいこと」をテーマに、多くの他者の意見を聞くことができ、「将来の働き方を考える良い機会となった」、「自分の考えを深める良い場づくりができた」等、非常に好評であった。

○11月19日（土）⇒16名参加





大学生の地元定着就職に関する インタビューの結果

本学では、卒業生の県内就職・定着・Uターンを推進する事業を展開してきました。このたび、就職地（県内 or 県外）を決める要因について、学生の「生の声」から分析したので、報告します。

I. 調査について

平成28年3月に卒業、4月に就職した学生のうち、青森県出身者を中心とした本学学生及び既に就労している卒業生29名を対象とし、2月～3月に行いました。将来のキャリアや暮らし方について、就職地及び就職先を決定した決め手について質問し、この結果を、就職地を選択する要因を中心に分析しました。

本調査は、弘前大学が平成27年度に採択された、文部科学省の助成事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の事業である、「女子学生の県内就職・定着に向けたキャリア支援教育プログラム」（青森県立保健大学が開発主体校）の平成28年度活動として行ったものです。

II. 結果について

就職地を決めるにあたって、4つの要因が関連していることがわかりました。

次ページの図のように、4つの要因を秤にかけ、そのバランスによって就職地が決定されているのではないかと考えています。

学生は故郷である青森の文化や風土に対する愛着や、故郷の役に立ちたい意識を感じていました。しかし、「青森に残るのは負け組」といった、「挑戦できずに残る私」というネガティブな語りもありました。また、県外にいる青森県出身者の活躍を心強く感じていました。

仕事・職場については、安定・堅実志向であり、仕事をする以外以外の心労（人間関係や、劣等感など）を抱えたくないと感じているようであり、余裕のある仲の良い職場で、サポートが受けられることを望んでいました。

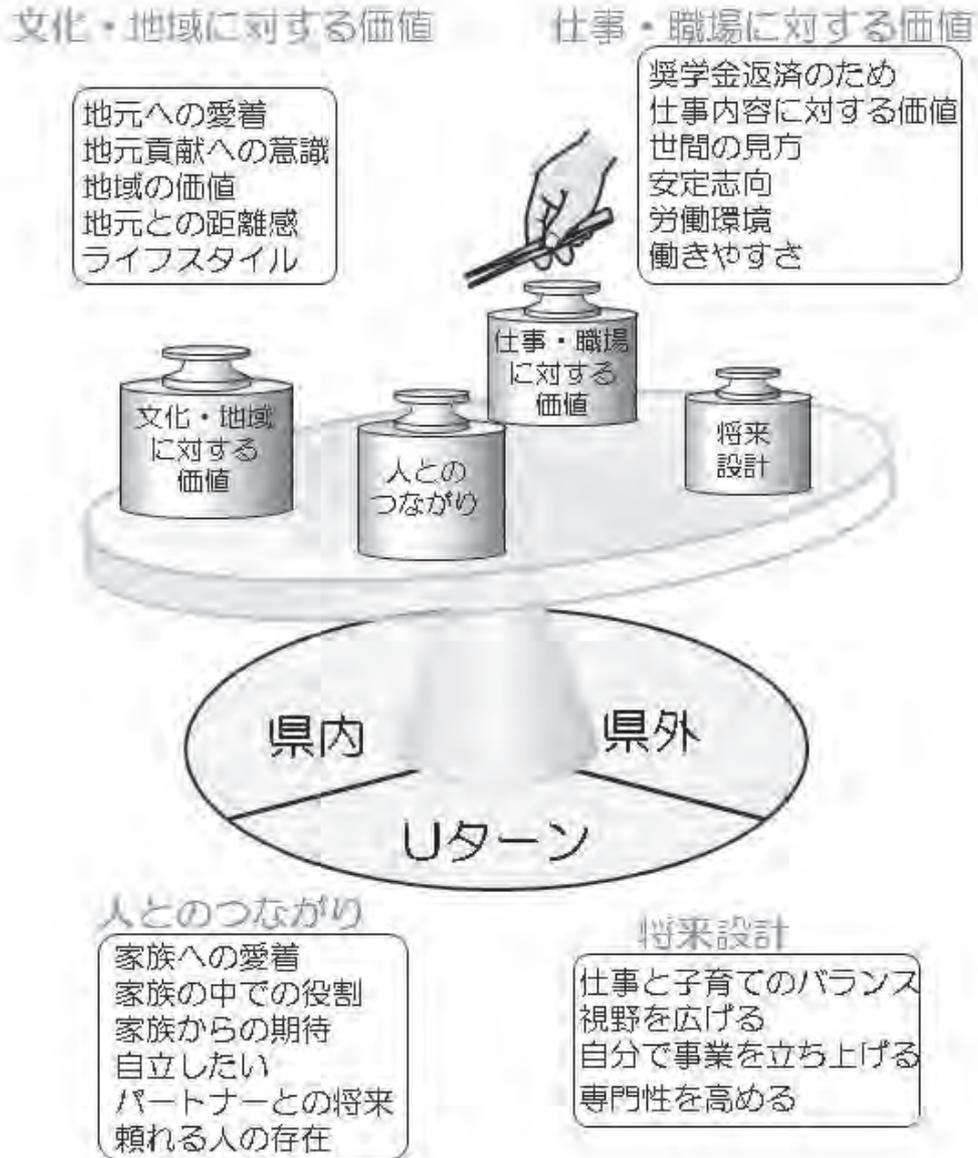
人とのつながりについては、現在の親との関係だけでなく、将来者していく親について考えが及んでいました。また、頼れる人のそばにいて安心したいという思いもあり、これが県内への就職、友人のそばでの就職に結びついているようでした。また、「パートナーとの将来」が、就職地選択に強く影響していると考えられました。

将来設計については、「出産・子育て」についての要因が多くみられました。学生は、子供を産みたい、相應の時間をかけて育てたいと希望していました。しかし、産休や育休、仕事と子育ての両立については、具体的なイメージが抱けていないようでした。

故郷への就職を推進するためには、故郷への愛着を育てることだけでなく、ここに居たい（離れがたい）と思えるような人間関係が形作られていることが必要だと思われます。また、出産や子育て、生活にかかる時間やお金に関して具体的なイメージを持つことで、確信をもって就職地を決定できるのではないかと考えています。

資料 2

図 就職地決定モデル



くらす ? はたらく

【対象】
県内の大学生
(短大・専修含む)
なら男女問わず
だれでもOK!

【Session1】

女社会 ? 男社会

? にあなたなら何を入れますか。
≡、>、<、「ように」、「または」…
生き生きと「くらす ? はたらく」
のブラックボックス ? を考え、
キャリアについて考えていくセッションです。

■日時/平成28年11月19日(土) 13:00~15:30

■会場/青森県立保健大学 A棟1F 音楽室

※弘前方面の方は送迎バスあり。

■定員/20名【事前申込制】 ■参加費/無料

■スケジュール/【第1部】ゲストトークセッション
【第2部】ゲスト&学生ワークショップ

〈コーディネーター〉

NWEC (National Women's Education Center, JAPAN)
独立行政法人 国立女性教育会館事業課専門職員
佐伯 加寿美さん

【女社会ではたらく男子】

ゲスト



東北薬科科大学病院
循環器科・心臓血管外科・
腎臓分泌内科病棟
看護師
小泉 瑠清さん
青森県立保健大学看護学科卒
入職1年目

【女社会ではたらく女子】



認定こども園
青森中央短期大学附属
第一幼稚園
主幹教諭
棟方 恵子さん
青森中央短期大学幼児教育学科卒
入社12年目

【男社会ではたらく女子】



株式会社 田名部組
住宅事業部設計施工課
現場監督
沢目 枝里子さん
青森県立十和田工業高等学校卒
入社7年目

主催：青森COC+推進機構 女子学生のキャリア支援WG
(青森県立保健大学、東北女子大学、弘前医療福祉大学、弘前学院大学、青森中央短期大学)

問い合わせ先：青森県立保健大学 青森市浜館字間瀬58-1 TEL:017-765-2144

次回予告：Session2 お金 ? 時間

④新卒看護職の採用力向上セミナー（入門編）の実施（資料4）

学生の県内定着をはかっていくためには、受け皿側の意識やノウハウについても働きかけが必要であるとの観点から、採用側への県内就職を促す支援として、専門家の講演及びワークショップを開催し、県外や看護業界の新卒採用の現状や最新のトレンド、事例紹介、採用にあたっての課題や戦略についての理解を図った。なお、参加者の募集に当たっては、速やかな実行と結びつけるために、看護部門の責任者と事務の人事担当者の両者の参加を条件とした。前例のない形式であったが、定員の10施設を超える申込みがあり、参加者から大きな好評を得た。

○12月3日（土）⇒11施設（42名）参加



第1部コーディネーターの高木氏



パネルディスカッションの様子



第2部コーディネーターの大坂氏



ワークショップの様子

新卒看護職の 採用力向上 セミナー【入門編】

～あなたの病院の魅力、うまくアピールできていますか？～

第1部は、今の新卒採用の現状や最新のトレンドと、事例紹介についてお話ししながら、採用に当たっての課題や戦略について、具体的に・わかりやすく解説をいたします。第2部は、それぞれの病院の採用に対する課題・魅力を発見するためのワークショップをします。尚、現在企画中の【実践編】と併せてご参加いただくことをおすすめします。



【第1部】10:00～12:00

パネルディスカッション 「新卒採用の現状・事例紹介」

①新卒採用の現状 ②課題 ③戦略

パネリスト：名古屋立総合病院 看護部長 益塚典子 様
名古屋立総合病院 教育担当次長 森田静江 様
(株)エス・エム・エスキャリア
ナース専科就職ナビグループ責任者 大隅隆広 様

コーディネーター：(株)オフィス55 代表取締役 高木 茂

【第2部】13:00～15:00

ワークショップ

①あなたの病院の課題 ②あなたの病院の魅力を発見
③発表

コーディネーター：オフィス円香 大坂 彰子

■日 時／平成28年 **12月3日(土)**
10:00～15:00 (受付9:30～)

■会 場／ホテル青森 3F 善知鳥の間 (青森市堤町1丁目1-23)

■定 員／10施設 (定員を超えた場合は先着)

■対 象／青森県内の新卒看護職採用を予定している病院

■参加条件／1施設3～5名のグループ
(看護部門管理者と人事・採用担当事務員が含まれること)

■参加費／無料

■申込方法／裏面に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください

応募締切／平成28年11月15日(火)

コーディネーター



(株)オフィス55 代表取締役 **高木 茂**

1960年秋田県生まれ。1972年中央大学卒業。同年(株)リクルート入社。1985年(株)リクルートメディアコミュニケーションズ取締役人事課長に就任。その後、2006年(株)オフィス55を立ち上げに参画。その後、ジョブカフェにてセンター長等職任。東北地方を中心に人材開発事業に関わる。能登、加賀、石川、福井などの企業向け支援や行政機関と共に若年層の就業支援などのサポートを手掛ける。

オフィス円香 代表 **大坂 彰子**

専門学校卒業後、松下精工製の会社、専任事務員、人事、人事課長会社2社、自治体機関にて社員研修開発を担った。キャリアコンサルタントとして独立。青森県と大森市を拠点に、自治体機関、民間団体の個人及び若年層や高校生・大学生の就職ガイダンス講師として活動しながら、大学連携研究会、大学の機関の連携にも携わる。



⑤WG平成27～28年度成果報告リーフレットの作成

事業の内容を周知し、今後実施していく各種事業への協力・参加を促進するとともに、関係者等に自らの取り組みに興味・関心を持ってもらうツールとして、これまでの事業成果をとりまとめたリーフレットを作成した。

○あおもりで専門職を目指す女子学生のキャリアを支えます

～学生のキモチと企業のキモチをつなぐ～



リーフレットの表紙 (A4 サイズ 8ページ 観音折り)

4 雇用創出連携プロジェクト

4 雇用創出連携プロジェクト

(1) ツーリズム関連産業創出プロジェクト

(プロジェクトマネージャー校：青森中央学院大学)

① ヘルスツーリズム

・ドイツ式健康ウォーキングの実施

ヘルスツーリズムのビジネス化に向けた取り組みの一環として、「浅虫温泉海山クア（健康）の道」でのドイツ式健康ウォーキングを実施した。

5月、6月、7月、9月、10月の計10回実施したが、参加人数は延べ264名で昨年度より103名増加した。(事業協働機関である青森銀行行員向けのウォーキング参加者を含む)



・ドイツ式健康ウォーキング・ガイドサポーター養成研修会の開催

日 時 平成28年7月22日（金）16：10～18：00
 場 所 青森中央学院大学 7号館711教室
 参加者 48名（うち学生16名、教職員10名、一般22名）
 講 師 日本クアオルト研究機構 事務局長
 日本クアオルト研究所 所長 芸術工学博士 小関 信行氏
 あおもりクア（健康）ガイド協会 会長 野宮 正宣氏



・先進地でのクアオルトウォーキング・ガイドサポーター実地研修会の実施

日 時 平成28年9月7日（水）～8日（木）
 場 所 山形県上山市
 参加者 11名（うち学生9名、教員2名）
 講 師 上山市クアオルト推進室 室長 佐々木 慶氏
 同 副主幹 高橋ちぐみ氏（保健師）
 日本クアオルト研究機構 事務局長
 日本クアオルト研究所 所長 芸術工学博士 小関 信行氏



- ・「浅虫温泉海山クア（健康）の道」ガイドマップ（コース編）の作成
 ドイツ式健康ウォーキング「浅虫温泉海山クア（健康）の道」を紹介する携帯ガイドマップ（コース編）を作成し、同ウォーキングの県内外への周知を図った。
- ・宿泊型新保健指導事業（スマート・ライフ・ステイ）の実施検討
 ヘルスツーリズムのビジネス化に向けた取り組みの一環として、厚生労働省が推進している宿泊型新保健指導事業（スマート・ライフ・ステイ）について、先進事例を調査するなど実施に向けた検討を行った。
 調査先：山形県上山市、新潟県妙高市
 調査期間：平成29年2月13日～15日



② サイクルツーリズム

・サイクルツーリズムの推進・課題についての検討

青森中央学院大学が事務局を務めている青森県サイクル・ツーリズム推進協議会と連携し、5月から毎月開催された誘客促進ワーキンググループ会議に出席し、青森県でのサイクルツーリズムの推進・課題について検討を行った。

・サイクルツーリズム推進フォーラムの開催

日 時 平成28年11月2日(水) 18:00～20:00

場 所 ホテルサンルート五所川原 2階 萬葉の間

出席者 60名

内 容 1 講演

自転車を中心とした観光振興

「自転車で琵琶湖を一周する観光～『ビワイチ』」

講師

滋賀県 守山市役所 政策調整部次長兼地方創生推進室長

山形 英幸 氏

2 パネルディスカッション

「サイクリングとサステイナブルな地域の振興」

パネリスト(敬称略)

守山市役所 政策調整部次長兼地方創生推進室長 山形英幸

株式会社ウイルスステージ 代表取締役 大谷洋士

株式会社ウイルスステージ 営業統括部長 京極卓也

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

主任研究員(地域づくりスペシャリスト) 藤原誠二

五所川原市サイクリング協会 会長 福士寛美

コーディネーター

青森中央学院大学 地域マネジメント研究所

所長・教授 岩船彰



・サイクリングガイド養成に向けたセミナーの開催

日 時 平成29年3月18日(土) 14:00~16:00

場 所 新町キューブ(青森ケーブルテレビ)3階 萬葉の間

出席者 23名

内 容 青森のサイクリングガイド養成に向けて
～サイクリングガイドの現状と観光振興～

講師: 日本サイクリング協会認定

サイクリングガイド 江利山元気氏、花田カズオ氏



③ ツーリズム（観光）関連産業ワーキンググループ会議の開催

雇用創出連携プロジェクト「ツーリズム（観光）関連産業」を全県的に推進するために、プロジェクトマネージャー（PM）を座長として、各ブロックのリーダー校をメンバーとするワーキンググループを構成して、全県的に推進するための検討を行った。

<WGのメンバー>

青森中央学院大学地域マネジメント研究科長・教授	内山 清（座長）
弘前大学副理事・教授	森 樹男
八戸工業高等専門学校 教授	沢村 利洋

（オブザーバー）

青森中央学院大学経営法学部 教授	岩船 彰
青森中央学院大学地域連携センター長・教授	高山 貢

【第1回ツーリズム関連産業ワーキンググループ会議】

日 時 平成28年12月14日（水）12:00～13:00
場 所 青森中央学院大学 2号館4階 ミーティングルーム
議 事 1 ツーリズム関連産業を全県的取り組みとすることについて
2 その他（意見交換）

【第2回ツーリズム関連産業ワーキンググループ会議】

日 時 平成29年3月14日（火）15:30～17:00
場 所 青森国際ホテル 6階 「牡丹の間」
議 事 1 ツーリズム関連産業を全県的取り組みとすることについて
*青森ブロックから、青森中央学院大学の「ツーリズム（観光）関連産業」の取組状況について説明した。
2 その他（意見交換）



5 參考資料

5 参考資料

(1) 青森中央学院大学COC+推進学内組織

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）について、全学的な取り組みが必要不可欠なことから、学内COC+運営委員会、COC+推進チーム及び学内COC+事業評価委員会を設置して推進している。

<学内COC+運営委員会の開催>

【第1回COC+運営委員会】

日 時 平成28年2月17日（水）16:00～17:00

*キックオフミーティングとして開催。

場 所 本部棟 7階会議室

- 議 事
- 1 COC+推進学内組織体制について
 - 2 委嘱状交付
 - 3 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の概要について
 - 4 青森ブロックでのこれまでの検討事項及び今後実施予定の事業・取組について
 - 5 その他（意見交換）



【第2回COC+運営委員会】

日 時 平成28年5月26日（木）16：30～17：30

場 所 本部棟 8階会議室

- 議 事
- 1 平成27年度COC+活動実績報告について
 - 2 平成28年度活動計画について
 - 3 その他（意見交換）



【第3回COC+運営委員会】

日 時 平成28年12月8日（木）10：00～11：00

場 所 本部棟 8階会議室

- 議 事
- 1 平成28年度COC+活動中間報告について
 - 2 今後の活動計画について
 - 3 その他（意見交換）



<学内COC+推進チーム会議の開催>

- ・平成28年4月20日 学内COC+推進チーム(女子キャリア支援)会議
- ・平成28年4月28日 学内COC+推進チーム(ツーリズム)会議
- ・平成28年5月25日 学内COC+推進チーム(共育型インターンシップ)会議
- ・平成28年6月 7日 学内COC+推進チーム(むつブロック)会議
- ・平成29年3月10日 学内COC+推進チーム(ツーリズム)会議
- ・平成29年3月13日 学内COC+推進チーム(共育型インターンシップ)会議
- ・平成29年3月23日 学内COC+推進チーム(女子キャリア支援)会議



ツーリズムの学内会議



共育型インターンシップの学内会議

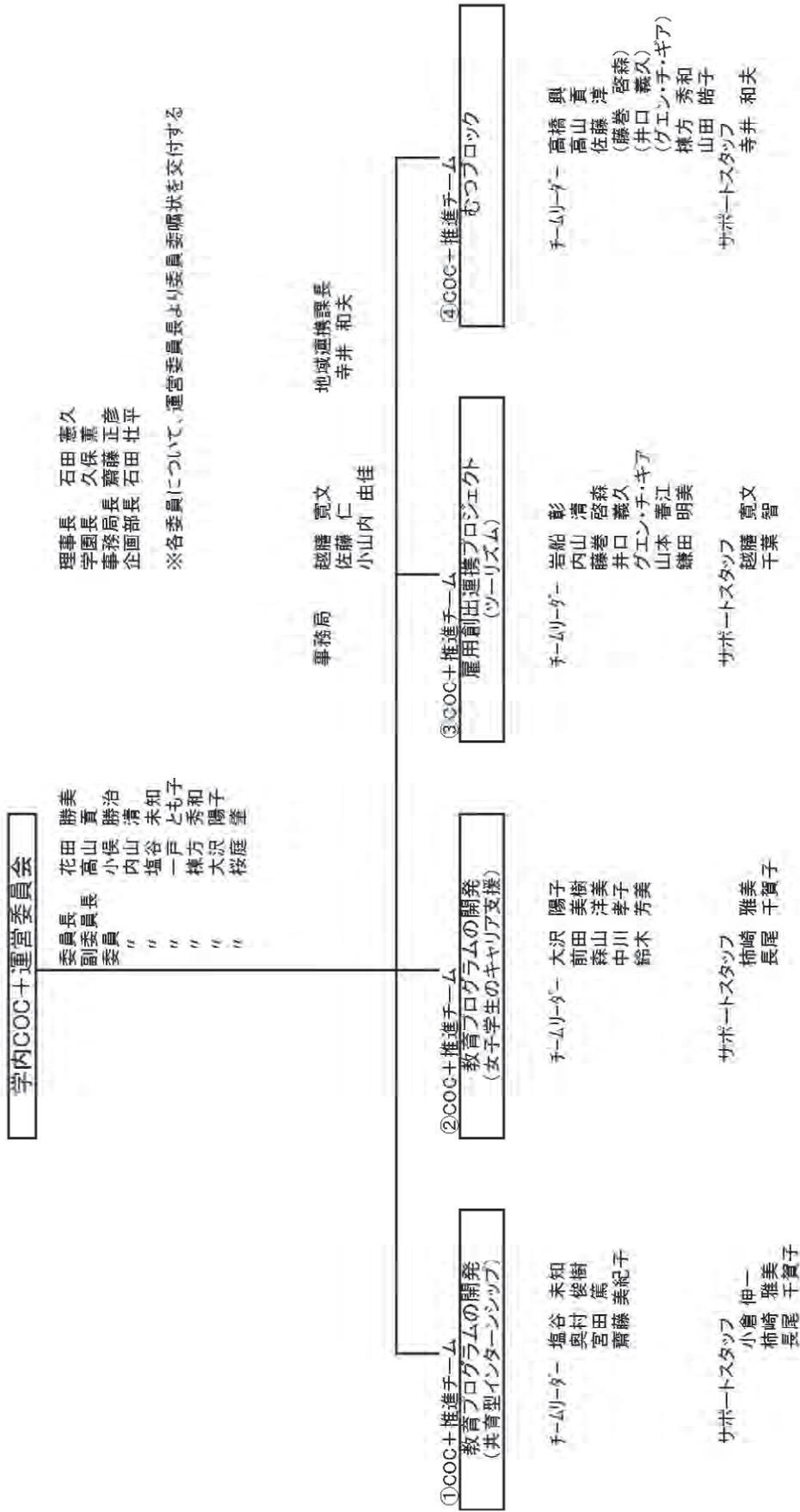


むつブロックの学内会議



女子キャリア支援の学内会議

青森中央学院大学COC+学内組織図(平成29年3月31日)



(2) 青森県立保健大学COC+推進学内組織

教育プログラムWG会議

開催数：年3回程度

青森県立保健大学（主査）

開発・実施委員会

(学内委員会)

開催数：年3回程度

上泉和子顧問

小山内豊彦特任教授

深堀満教務学生課長

開発・実施委員会

(学内小委員会)

開催数：年3回程度

角濱春美教授

鄭佳紅准教授

廣森直子講師

小林昭子助教

佐藤しのぶ助教

村上眞須美講師

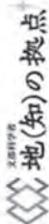
小向千草就職相談員

東北女子大学

弘前学院大学

弘前医療福祉大学

青森中央短期大学



平成27年度採択
文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」



**ALL
AOMORI
COC+**

オール青森で取り組む 「地域創生人財」育成・定着事業

青森COC+推進機構

オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業 事業協働機関

【COC+大学】弘前大学【参加大学等】青森県立保健大学／東北女子大学／八戸工業大学／弘前学院大学／八戸学院大学／青森中央学院大学／弘前医療福祉大学／青森中央短期大学／八戸工業高等専門学校【参加自治体】青森県／青森市／弘前市／八戸市／むつ市【参加企業等(青森ブロック)】青森朝日放送(株)／(株)青森銀行／青森経済同友会／(一社)青森県銀行協会／青森県警察本部／(一社)青森県工業会／(一社)青森県情報サービス産業協会／青森県信用組合／青森商工会議所／(株)青森テレビ／青森放送(株)／(NPO)青森未来エネルギー戦略会議／(株)大坂組／(株)オカムラ食品工業／(協組)カクヒコグループ／(株)サンワイド／(株)JR東日本青森商業開発／(一社)慈恵会／(協)タグケン／(同)tecollc.／(株)東興日報社／(公財)21あおもり産業総合支援センター／(株)ビジネスサービス／(株)富士清ほりうち／(医)美郷会／(NPO)プラットフォームあおもり／丸太畑内(株)／(株)みちのく銀行【参加企業等(弘前ブロック)】青森県農村工業農業協同組合連合会／(公財)鷹揚郷／カネシヨウ(株)／キヤノンプレジジョン(株)／(株)小林紙工／(株)シバタ医産科／東奥信用金庫／東北化学薬品(株)／弘果弘前中央青果(株)／(株)弘前公益社／弘前航空電子(株)／弘前商工会議所／アジプラント(株)／ブナコ(株)／前田酒類食品販売(株)／マルマンコンビュータサービス(株)／三ツ矢交通(株)／(株)陸奥新報社／(株)ラグノオオさき／(一財)黎明郷／六花酒造(株)／青森オリンパス(株)／(地強)青森県産業技術センター／環境保全(株)／(株)水村食品工業／(株)光城精工／(株)あおもり海山／東和電機工業(株)【参加企業等(八戸ブロック)】青い森信用金庫／(一財)青森県工業技術教育振興会／アルバック東北(株)／エスプロモ(株)／エプソシアミックス(株)／(株)オダブリント／(株)抗菌研究所／(株)サン・コンピュータ／(株)サンデー／(株)ジーアイテック／(NPO)循環型社会創造ネットワーク／大太平洋金属(株)／武輪水産(株)／多摩川精機(株)八戸事業所／中発テック(株)／(有)塚原／(株)デーリー東北新聞社／東京鉄鋼(株)環境リサイクル事業部／東北建設工業(株)／東北容器工業(株)／トクルージオ(株)／ノーザンライツ(株)／八戸ガス(株)／八戸鉱山(株)／八戸酒造(株)／八戸商工会議所／八戸製錬(株)／マルヨ水産(株)／(公財)八戸地域高度技術振興センター／(株)マシーユ／マネックス証券(株)／(株)よこまち／(株)吉田産業／(株)リグイン／(株)ササキコーポレーション／(有)身土不二／太子食品工業(株)／大蔵工業(株)／(株)東北産業／東北三吉工業(株)【参加企業等(むつブロック)】(有)サンマールアイナリー／(NPO)ぶらっと下北／むつ商工会議所／(株)マエダ／(国研)日本原子力研究開発機構青森研究開発センター／日本原燃(株)／むつ小川原港洋上風力開発(株)

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とは
大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある
取組等の創出を図るとともに、その地域が求める人材を養成するため
に必要な教育カリキュラムの改善を断行する大学の取組に文部科学省
が支援することで、地方創生の中心となる「地(知)の拠点」への貢献を
目的としています。

**ALL
AOMORI
COC+**

青森COC+推進機構
事務局 国立大学法人弘前大学
〒036-8560
青森県弘前市文政町1 電話
TEL 0172-39-3305/3306
FAX 0172-39-3309
E-mail coc@hro.ac.jp
Web http://coc.hro.ac.jp

平成27年度採択 文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」

オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業
平成28年度 青森COC+推進機構（青森ブロック）事業実績報告書

平成29年3月発行

編集・発行 青森COC+推進機構（青森ブロック）
青森中央学院大学COC+事業推進事務局
〒030-0132 青森市横内字神田12番地
TEL(017)728-8161(直通)・Fax(017)738-8333
E-mail acgu-coc@aomoricgu.ac.jp
Web <http://www.aomoricgu.ac.jp>

